

第5回部活動地域移行検討協議会議事録

- 日時 2024年2月16日（金）16：30～17：50
- 場所 須坂市人権交流センター2階会議室
- 出席者
協議会委員17人
事務局7人

全体進行 教育次長

議事（座長進行）

（1）地域クラブ活動の目指す姿について 議事内容

（座長）

地域クラブ活動の目指す姿について、事務局の方から説明をお願いします。

（事務局）

それでは最初に資料1をお願いします。

この資料は、これまでの協議会において発言された意見や、昨年10月に実施した部活動地域移行に関するアンケートの回答をもとに地域クラブ活動の目指す姿についてまとめたものです。

資料左側のページですが、アンケートから抜粋をしたものです。

小学校5、6年生が部活動に入りたい主な理由として「興味のある活動ができる」、「仲間ができる」、「同じ学校の仲間と一緒に活動ができる」という回答が多くありました。次に、中学校1、2年生の部活動所属の主な理由は、「興味のある活動ができる」、「同じ学校の仲間と一緒に活動ができる」、「仲間ができる」で小学校と同じ傾向ですが、加えて中学生は、「体力や精神力がつく」、「達成感が得られる」、「努力することの大切さが学べる」という回答も多くありました。

3点目として、中学校1、2年生が民間等の地域クラブに所属している主な理由は、「体力や精神力がつく」、「より専門的な指導が受けられ、専門性の高い知識や技術が習得できる」とする回答が多くありました。学校部活動と比較すると、民間等の地域クラブに所属している生徒は、「専門性の高い知識や技術の習得」が所属理由として多い状況でした。

次に、地域クラブやその指導者に望むことについて聞いたところ、中学生は、「一人一人のレベルに合わせた丁寧な指導」、「専門性の高い指導」、「無理のない活動日数や時間」、「学校生活に配慮した活動時間」という回答が多くありました。

また、保護者は、小中学生の保護者ともに、「専門性の高い指導」、「1人1人のレベルに合わせた丁寧な指導」、「学校生活に配慮した活動時間」という回答が多く、中学生の回答と同じ傾向でしたが、加えて、「保護者負担ができるだけかからない活動」という回答も多くありました。

次に、中学校の教員が部活動の指導で負担と感ずること、課題と考えていることについては、「経験がない種目等の指導や休日や平日の指導時間」に負担を感じている教員が多く、また、「生徒数の減少」、「教員の多忙化」、「専門的な指導」を課題としている教員が多い状況でした。

次に右側のページは、協議会での意見ですが、「学校部活動の教育的意義を大事にし、地域に移行する」、「指導者は学校と連携し生徒に寄り添い指導することが大事」との意見の他、「生徒のニーズを考慮した活動」、「子どもたちの自主性・主体性を最大限尊重した活動ができると良い」などの意見がありました。

以上の点から今後、学校部活動の代替として行われる地域クラブ活動の目指す姿を事務局で素案としてまとめました。

地域クラブ活動は

- 1 地域クラブでの活動や交流等を通して、仲間づくりや人間関係の構築を図り、社会性や協調性を育むことに努める。
- 2 生徒が主体的に取り組むことができるように努める。
- 3 専門性の高い知識や技術の習得のみならず、活動の楽しさ、上達したことへの達成感、努力することの尊さを実感できる活動に努める。
- 4 地域と連携を密にし、専門的な指導者の確保に努める。

指導者は

- 1 生徒の主体性を尊重する。
- 2 生徒との十分なコミュニケーションを図り、生徒一人一人のレベルや心身の成長に応じて丁寧な指導に努める。
- 3 無理のない活動日数や時間及び学校生活に配慮した活動に努める。
- 4 指導者研修などにより専門性の高い指導の維持に努め、合理的かつ効率的・効果的な練習の導入に努める。

5 生徒の心身の健康管理、事故防止を徹底し、体罰・ハラスメントの根絶に努める。

ということで、協議会で検討してきたことをもとに、地域クラブ活動の目指す姿を提案しました。皆様からご意見をお聞きし、修正するところ等があれば修正し、決定していきたいと考えています。

続きまして資料2ですが、前回、小学校、中学校、保護者、教職員の対象者別にアンケートの結果について説明しましたが、この資料は調査項目別にまとめたものを提示しました。本日の検討の参考にしてください。

(座長)

今の説明で質問等ありますか。よろしいですか。

では、目指す姿の素案が示されました。これについてのご意見を伺います。まず、地域クラブ活動についていかがですか。

(A委員)

基本的には承知していますので、良いと思います。

(B委員)

クラブ活動の目指す姿としては良いと思います。今思ったのは、このクラブ活動を通して、どんな子どもを育てるのかというところがもう少し明確になるとまた違った観点に見えてくるのではと感じました。

(C委員)

今、B委員が言われたことはすごく大事なことだと思います。須坂市としてどういう子どもたちを育てていくかをここに明記されていることが重要だと思います。

各クラブではその専門性のある指導をして、それぞれ目指す姿があると思うので、須坂市としてどういう子どもたちを育てていくということが明記されるべきと思います。今の部活動でも競技の専門性を高めることは大事ですが、部活動を通して子どもたちの人間性を高めていくことを大事にしている。それは全体で共有するものとして明記していくべきだと思います。

(座長)

運営主体が決まっていないと、そこが出せないと思うので、運営主体が決まったところでその話をしていきたいと思います。

(D委員)

目指す姿について、異論はありません。同感するところがたくさんあります。

加えて言うなら、地域の活動は、須坂市に限らずもっと広くあると思う。

その辺をもっと大きくとらえた方が良いと思っている点が一つと、あともう一つ、せっかく地域が関わることになるので、一方的に大人から子どもへ指導するというのではなく、子どもからの刺激を大人も受けると思うので、そこを目指す姿として加えても良いと思う。

(座長)

地域の枠について具体的な考えはありますか。

(D委員)

今、須坂市技術情報センターで科学クラブをやっている。それは須坂市の子どもたちに限っていない。長野市の子どもたちもいて、交流の範囲が広がっていくところもあり、それは良いことだと思っていることと、子どもたちが頑張っている姿を見て、いつも大人が刺激を受けている。せっかく地域が関わるのであれば、そういうことも地域活性化の一つとして捉えておいても良いのではないかと思う。

(座長)

前半の部分ですが、地域クラブの試行をしている陸上競技で小布施町から子どもたちが参加しています。また、女子バスケットボールの東中学と高山中学が組んで活動している。近隣を含めた地域という捉え方でよろしいですか。(D委員了承)

(座長)

後半の部分は、部活動の地域移行は、地域づくりを目指していることもありますので、一つ何か加えた方がよろしいですか。

(D委員)

今までは学校の先生が関わっていたが、これからは、いろいろな人が関わるし、ゲストスピーカーみたいに地域の人を呼ぶこともあると思うので、そこで大人も刺激を受け、それが地域の活性化にも繋がっていくのではないかと思います。

(座長)

それでは、今言われたことをここに加えたいと思います。

(E委員)

(アンケートの回答の中に)保護者の負担はできるだけかからない活動と記載されていますが、できるだけとはどの程度のことかわかりますか。

(事務局)

具体的なことはわかりません。地域クラブへ移行することによって、指導者への謝金が発生するとか、活動場所への送迎に負担がかかるとか、そういうことができるだけかからないような活動をという思いで回答されたものと考えています。

(E委員)

活動場所への送迎などに保護者の負担がかかるのではないかとというのが心配で質問させていただきました。

(座長)

陸上で地域クラブの試行をやっていますが、保護者の送迎等の様子を話してください。

(A委員)

基本的に市内の4中学校は、保護者が現場まで車で、あるいは本人が自転車で来ています。保護者と話をする中では、負担に感じて困っているということはなく、集まってみんなで賑やかにやりたいという感じです。

小布施中学校は、社会体育という形で参加しているので、保護者が当番を決めて、車で送迎しています。10人くらい参加者がいますが、3人ぐらいの保護者が送迎しているようです。今のところは保護者が困っているということはありません。

(F委員)

目指す姿の内容については、素晴らしい言葉が並べられていて良いと思いますが、この地域移行する前の段階で、なぜ移行していくのかの発信を生徒や保護者に丁寧に不安感を拭うことが大事ではないかと思います。制度の間にある子どもたちは、メリットが感じにくかったり、不安な部分があると思う。この移行がどうしても必要なのかとか、アンケートにもありましたけど、先生方の切実な思いとか、もう少し丁寧に皆さんに発信することが大事ではないかと思いました。

(座長)

国の方針で決まってきたことをどのように進めていくかということですね。

(F委員)

当事者が現状をとらえきれずに話が進んでいっているのではないかと感じている。

いままで教員に負担がかかっていたが、保護者とか生徒の考えを変えていくような発信の仕方があれば良いと思う。

(座長)

3年かけて地域移行していくという指針が出ており、それをどう進めていくかということになりますが、運営主体が決まった段階で新たな提案としてやっていきたいと思えます。この下の指導者で五つありますが、ご意見をお願いします。

4番の研修については、大事なことだと思いますので、ぜひお願いしたいと思えます。あと5番の体罰・ハラスメントですが、一番問題になってきますので、根絶に努めるのではなく、根絶するとした方が良くと思えます。ここは、ぜひお願いしたいと思えます。

(事務局)

確認ですが、地域クラブのところへ5点目を加えていくということですが、ご意見いただいたD委員と打合せをして、文言は事務局で調整させていただくということによろしいですか。(座長、委員了承)

(2) 地域クラブ活動の運営主体について 議事内容

(座長)

次の議題ですが、運営主体について事務局から提案をお願いします。

(事務局)

資料3の地域クラブ活動の運営主体等について説明します。

地域クラブの運営主体がやっていくことですが、実施主体、実際に指導者を出していただける団体や指導者個人と連携をして、適正で持続可能な運営体制を構築し、会計処理や会場確保、指導者派遣、安全管理等の実務を行うものです。

運営主体について、これまで協議会で出された意見を議事録から抜粋しました。

要約すれば、教育委員会が主体となって、そこへ指導者が入っていくという意見が出ています。この資料の3の2にスポーツ庁事例集の運営例を掲載しましたが、1の類型に当たるイメージと考えていただければ良いと思えます。これまでの協議会での検討状況や先進地視察の結果、アンケート結果、地域クラブの目指す姿の実現、中学生にとってより良いスポーツ、文化芸術環境の確保のためという観点から地域クラブの運営主体および運営形態等について検討をお願いしたいと思えます。

また、この資料の3に須坂市部活動地域移行検討協議会の今後について掲載しましたが、この協議会は来年度以降も存続して、引き続き、地域移行について検討をお願いしたいと思えます。運営主体はこれから検討していただきますが、運営主体となった団体は、部活動の地域移行のための環境整備のこととか、地域クラブの運営等の状

況について、この協議会に報告し、協議会の意見を聞く中で運営を行っていくという内容です。協議会も運営主体とともに運営に関わっていくという内容です。これについて了承いただきたいという内容です。

(座長)

質問ありますでしょうか。ご意見をお願いします。

視察に行った千曲市の場合は、運営例の1になります。

(G委員)

運営例のうちのどれかになるとは思いますが、運営には大変お金がかかりますし、スムーズに運営していくには人とお金が必要になってくると思います。また、目指す姿を実現するための運営主体はどこが良いか。その点もよく考えていかなければと思います。スポーツ協会では、連絡会等々、事務局の方でどのように関わっていけるのか引き続き考えていきたいと思っています。

須坂の子どもたちがどうやってスポーツに関わって、地域の中でどう育てていくかという非常に重要な問題だと思います。また、地域を盛り上げていくということも含めて考えていかななくてはならないと思います。

(座長)

試行している陸上競技の方では、部活動指導員と陸上競技協会の方が中心になって指導しています。スポーツ保険は各学校の顧問の方で人数集約して集金して、それを市の教育委員会が事務局になり、保険の方へ加入手続きを行うなど、今、学校と市教委と陸上競技協会の方とが連携してやっているのが現状であります。

(B委員)

陸上競技の合同練習に参加させていただいています。非常に良いと思っているところは、地域移行の試行では、学校職員が指導者として関わらなくても活動ができることです。良い形で運営していて、教員の負担が減りありがたいと思います。私は、教育委員会が主導で運営するということは非常に賛成であります。

(座長)

資料で見ますと市町村の運営型の1 地域団体・人材活用型です。

市町村教委が、地域団体、この地域団体の中に各中学校もあるのかと思います。名簿を作ったり、集計をしたりは、市と学校と連携しないと難しいと思っています。

(B委員)

子どもたちがお世話になるので、学校の関わりはゼロにはならないと思います。今までは本当に先生方の善意という形で部活動が行われてきました。今朝のニュースで、高校の先生が中心になって、専門的な知識がないのに部活を持たせられていることについて反対する組合ができたと報道されていました。

そういう声を上げている先生もいますが、なかなか声を上げられない先生方もいます。関わりをゼロにするのは難しいですが、できるだけ先生方の負担を減らして、家庭に帰ってもらいたいという思いがあります。

(E委員)

私たち地域スポーツクラブの監督・コーチは、教員資格は持っておりません。

そういう中で子どもたちをどのように教育するかということに関しては勉強してきておりません。好きな子どもたちを集めて、そこでみんなで一生懸命やっていることなので、須崎市として、スポーツとか文化に関わる指導者は、最低限度こういう勉強をしてくださいというものはありますか。

(事務局)

指導者研修については、部活動を地域に移行する中で、しっかりと考えていかなければならないと思います。この間、千曲市を視察したときも、地域の専門的なトレーナーの方とか医師の方も入って、研修の内容を作っているという話を聞いてきましたが、研修については、しっかりやっていかなければいけないと考えています。

(座長)

日本体育協会のトレーナーとかコーチとか、そういう資格があれば問題ないと思います。

(H委員)

この運営というのはとても大事ですが、具体的なイメージが私にはよくわかりません。例えば指導者は、学校の先生から地域の指導者になる。ある学校では一つの部活で人数がそれなりにいて、ある学校とある学校はいないので合同でやる。こっちの指導者も必要。こっちも必要、同じバスケットボールでも指導の先生が何人か必要になるということになるのではないのでしょうか。

そうした場合に、そんなに指導できる人が確保できるのか。それがバスケットだけじゃなくて、他にもいろいろ部活があるわけです。専門的な技術と知識のある指導者をどうやって確保するのか私にはイメージできない。教育委員会やスポーツ協会の方で指導者の目途はあるのか。その辺をどう考えているのかお聞きしたい。

(事務局)

指導者の確保は、須坂市に限らず、コーディネーター会議とかいろんなところで情報を聞いておりますが、多くの自治体で課題となっているのが現状です。

地域の文化芸術協会やスポーツ協会などと運営主体となったところが連携をして、何とか確保していくということしかないと思っております。また、地域にいる方に個人的にお声がけをするなどして確保していくことも必要と思えます。様々なところと連携をする中で進めていくしかないと考えております。

(H委員)

その時々に応じて対応していくということだと思っておりますが、無理があるとやる方も大変ですので、ある程度種目を絞るとか、いろんな場所でやるよりも少しコンパクトにやっていくとかを考えて始めた方が良いのではないかと思います。

(事務局)

これから運営主体となったところが動いてやることだと思っておりますが、無理して指導者を集めても持続可能な体制にはなっていないと思うので、できるところからやっていくということで良いと思っております。来年度はその体制作りをしっかりやって、令和7年度になってできるところから随時地域移行に入っていくという目標で考えています。持続可能な体制を整備することが一番大事ですので、その辺を考えながら進めていきたいと考えております。

(H委員)

部活動の地域移行は大事なことです。子どもたちは、部活に入って壁にぶつかること、勉強が大事なのか、部活が大事なのかなどいろいろ悩むこともある。また、実力があって、全国大会に行きたい生徒もいるし、そうじゃない生徒もいる。そういったことから以前にも話をしたが、少し緩い部活もあっても良いのではないかなと思う。1年間に例えば3種類だとか、4か月毎に違うスポーツとか、文化芸術活動を体験していくというような部活動。全国大会だとか記録を目指すのではなくて、仲間同士で楽しくやる活動があっても良いと思う。一生懸命部活動をやることは良いと思うが、学力のことも含めて、トータル的に考えていく必要があるのではないかなと思っております。

(座長)

ありがとうございました。種目数とか練習の方法とかは、試合への参加などについては、ここで運営主体が決まったところで、検討していくことになると思いますのでよろしくお願いします。

(B委員)

確認ですが、先程、令和6年度に運営体制を整備し、令和7年度にできるところから始めていくと説明されたのですが、休日の部活動の移行ということでしょうか。

(事務局)

ガイドラインにも示されておりますけど、まずは休日の部活動を地域に移行していくということです。まずは休日から、それで休日の様子を見て平日も移行していくということになります。令和7年度は、休日の部活動をできるところから地域へ移行するという事です。

(座長)

文科省は令和7年度までに準備しようと言っていますので、1年早く須坂市の方は実施するというケースになります。

(C委員)

今のことに對して質問ですが、できるところからというのはできる種目からと捉えてよろしいですか。

(事務局)

基本的には、まずは今ある休日の部活動を地域移行していくということで、部活動種目単位でやっていくということで、一斉に地域移行とは考えてないです。

(C委員)

種目からということになってくると、資料の運営類型でいうと3と考えて、運営主体は事務局的なイメージという形でよろしいのですか。

(事務局)

私は、資料のとおり運営類型がはっきり分かれているとは思ってないです。

3の型のように運営主体が事務局的に動いて、実際は競技団体をお願いする場合がありますが、そこは運営主体となったところがいろんな方と連携をとり進めていくもので全て運営を競技団体に任せるという意味ではないです。

(C委員)

千曲坂城クラブのイメージを持っていたので、運営団体から一緒にこの年からやりましょうというイメージかなと思っていたのですが、今のできるところからということだと、例えば、陸上競技の団体を作って、市が事務局になって運営していくのかと思ひ、それであればイメージが変わってくるのかと思ひました。

(事務局)

運営主体が決まった段階でどういう体制をとるかということになってくると思ひます。今、私がお話したのは、これまでの意見を見ると、運営種類の1のところに当てはまるのではないかという意味で説明をしました。基本的にはこの1の運営類型で運営すれば良いのではないかと考えております。

(C委員)

1の類型でいくのであれば、できる限りどういう進め方をしていくのか、教員も休日の地域移行をどうやって進めていけばいいのかわかっているところなので、急に地域移行してくださいとなっても、困ることがあると思ひます。どのように進めていくかという指針を運営主体の方から示していただくと助かると思ひます。教員から見ると、教育委員会でやってくれればすごく助かるなっているところが正直なところではあります。

(事務局)

運営主体が教育委員会ということになれば、関係する方々とよく調整をして話し合ひをして進めていくべきだと思ひます。他のところがなってもそれはそのようにしていただきたいと考えております。

(座長)

市町村を枠として行うので、中体連という拠点校部活というシステムに運動系の方はなっていくと思ひます。4校としたら、まず1校に集中してそこで活動するという形になっていくと思ひます。だから東中だとバレーやサッカーの部活はないのですが、東中でバレーやサッカーをやりたい生徒は、部活のある学校にお願いして、そこで活動してもらうこともできます。だいぶシステム変わってきて拠点校部活のような形になってくるかと思ひます。

今、質問が市教委に集中していますが、市町村教委が運営主体になるという方向でよろしいですか。また、そこに関係の団体とか学校が協力していくという形でよろしいですか。(委員了承)

今、市が運営主体になったということで、最初のC委員の質問の中でどんな子どもを育てるかということにつきましては、須坂市がここ5年ぐらいかけてやってきた「須坂モデル」があります。それを参考にしていけばと思いますので、来年度以降の検討になりますがよろしく申し上げます。何か全体を通してありますでしょうか。

(A委員)

二つお願いがあります。

一つは地域の捉えのところで、運営主体が市教委ということで決まりましたので、小布施町と高山村の情報を収集していただいて、一緒にできるものについて具体的に情報交換をしてもらいたいと思います。陸上に関しては、須坂ACと小布施RCが中体連の団体登録の申請をしています。別団体が一つの地域にできてくる。陸協という立場でこれから協力し連携するためにも、須坂市だけではなくて、小布施町、高山村も一緒に考えたい。今後、情報を積極的に得ていただけると嬉しいと思います。

二つ目は、各種団体等の代表者が協議会に参加して、具体的にどういう連携の仕方ができるのか分野や種目別に打ち合わせをしていく必要があるのではないか。団体としてどういう協力の仕方をしていいのか解らないと動けないということになってしまうのでその点よろしく申し上げます。

(G委員)

先ほど急に指名されたので、言えなかったこともあり発言しますが、D委員から子どもから学ぶということが話されましたがすごく大事だと思います。

昨日、一つの競技団体と話をする機会ありました。子どもたちはその団体に入って競技をしているのですが、20代から40代までの会員が少ないということです。スポーツ協会に入っていないということだけで判断してはいけないと思いますし、一つの競技団体の例なのですが、働き盛りの人たちは、スポーツをあまりやっていない。私は先ほどスポーツで子どもを育てるというようなことを言いましたが、子どもたちだけではなく、指導していく大人たちも関わっていくことで、この子どもたちから学びながらスポーツや文化をやっていくということは大事なことだと思います。

それから、先程スポーツのことしか言わなかったのですが、やはりスポーツと文化は、表裏一体で、実はスポーツ協会と文化芸術協会もコラボをしています。市民文化祭の中でスポーツ協会の団体が実技をやったり、スポーツ協会の総会に生け花を生けていただいたりとか、これからもお互いにコラボしていこうということで話をしてい

ます。これから文化系の部活とスポーツ系の部活が一緒にやっていく中で、須坂を盛り上げていくというイメージを持っていただければ良いと思いました。

もう一点ですが、聞いているところでは中体連の大会に地域のスポーツクラブが出られようになったのですが、そのハードルが高く出られない競技があるようです。これからそういう問題も出てくるのではないかと思いますので、情報提供等ということで話をさせていただきました。

(座長)

今後また検討していきたいと思います。3その他をお願いします。

(事務局)

指導者の確保・謝金、地域クラブの会費、活動場所への移動手段等についてですが、来年度以降検討をしたいと考えています。ここで何か話しておきたいことがあればお聞きして、来年度に繋げていきたいと思っております。

(座長)

何かご意見ありますでしょうか。よろしいですか。

また来年度よろしくをお願いします。事務局へお返しします。

(事務局)

来年度の協議会についてということで、次第に記載してありますが、先程説明しましたとおり、来年度以降も存続していきたいと思っております。来年度も皆様に委員をお願いしたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

本日の協議会で運営主体が市教委ということが決定しましたが、これについては教育委員会の方に報告し、了承を得て決定ということになります。

(教育次長)

座長様はじめ、委員の皆様、大変ご熱心にご審議いただき、誠にありがとうございました。今年度スタートしたこの協議会ですけれども、本日、地域クラブ活動の目指す姿を提案しましたが一部修正し決定をさせていただきます。大切な目指す姿を決められましたことに感謝申し上げます。

先ほど申し上げましたが、この協議会の皆さんのお知恵をお借りしながら、この目指す姿を実現していくための具体的な部分を来年度から決めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

以上を持ちまして第5回部活動地域移行検討協議会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。